

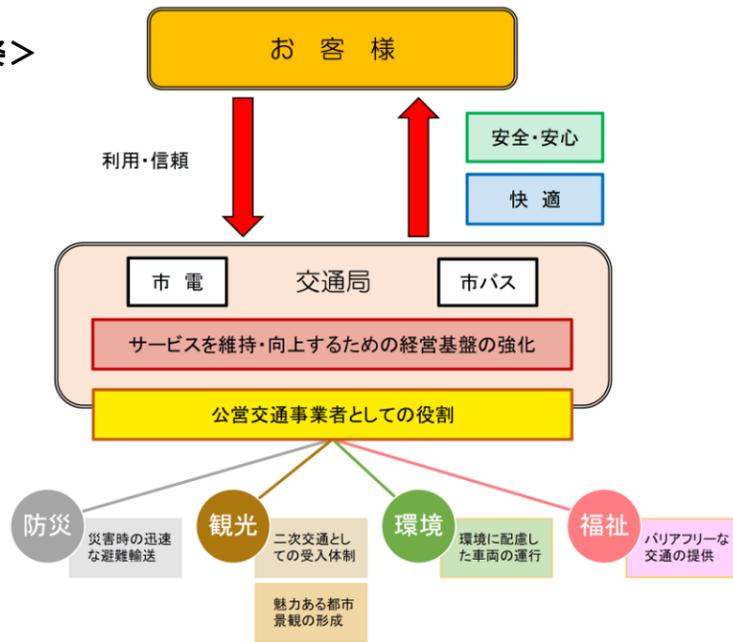
1 名称 鹿児島市交通事業経営計画（第二次経営健全化計画の後継計画）

2 計画期間 2020（令和2）～2026（令和8）年度

3 特徴

- ① 自動車運送事業の抜本的見直しを着実に推進し、持続可能な経営基盤の確立を図りながら、公共交通機関として、安全・安心で快適な質の高いサービスの提供を目指すもの
- ② 国が策定を要請している「経営戦略」の趣旨（経営の見える化等）を包含

<局の目指す姿>



4 計画に掲げる基本目標と主な取組

基本目標1 安全運行の推進

◇安全を最優先した、事故のない公共交通

- ・法令遵守、事故対応の迅速化や再発防止
- ・乗務員等の健康管理や人材育成
- ・軌道等の基盤設備などの良好な維持管理

基本目標2 快適で便利なサービスの提供

◇質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい公共交通

- ・乗車サービスの向上を図る接客研修の充実
- ・バリアフリーに適應した車両・施設の提供や上屋・ベンチなど快適な待合環境の整備
- ・技術革新が進む様々なキャッシュレス決済の導入検討やICTのさらなる活用

基本目標3 経営基盤の強化

◇経営基盤強化、中長期的に安定した事業運営

- ・自動車運送事業の抜本的見直しの着実な推進（資産の処分や人件費の抑制等を含む）
- ・運行の効率化を図る経路やダイヤの見直し
- ・さらなる営業展開等による増収対策の強化
- ・運賃の見直し等の検討

基本目標4 公共交通事業者としての役割を踏まえた事業推進

◇本市のまちづくりと発展に貢献する公共交通

- ・災害時の避難輸送への迅速な対応
- ・観光客等の周遊性向上や受入体制の確保等
- ・軌道敷内芝生の維持管理など環境への配慮
- ・高齢者等が気軽に利用できる環境の整備
- ・企業や大学との連携、地域に根ざした取組

5 財政見通し

自動車運送事業の規模の縮小によりバスの赤字幅が縮小し、軌道事業と合わせた交通事業全体として、計画期間終了年度（令和8年度）での収支均衡が見込まれる。

（単位：百万円）

		令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
電車	収益	2,276	2,292	2,345	2,325	2,344	2,366	2,356	2,387
	費用	2,160	2,194	2,261	2,139	2,115	2,063	2,029	2,007
	経常損益	116	98	84	186	229	303	327	380
	純損益	116	98	84	186	229	303	327	380
バス	収益	2,480	2,049	1,660	1,604	1,656	1,601	1,537	1,529
	費用	3,251	2,663	2,288	2,075	2,028	1,922	1,897	1,887
	経常損益	△771	△618	△607	△471	△473	△422	△396	△379
	純損益	△771	△614	△628	△471	△372	△321	△360	△358
合計	収益	4,756	4,341	4,005	3,929	4,000	3,967	3,893	3,916
	費用	5,411	4,857	4,549	4,214	4,143	3,985	3,926	3,894
	経常損益	△655	△520	△523	△285	△244	△119	△69	1
	純損益	△655	△516	△544	△285	△143	△18	△33	22

収支均衡

6 計画の進行管理

局の「経営健全化委員会」で自己評価を行うとともに、計画の進捗等は、「交通事業経営審議会」に報告し、必要な助言等を得ながら、進行管理を行う。

また、令和2年度から4年度までを前期期間と位置づけ、必要に応じ、後期に向けて見直しを行う。

